

- ・対象地域：二海郡八雲町熊石
- ・地域人口：3,482人(1,542世帯)(H17国調速報)
- ・漁港：熊石漁港(3)、関内漁港(1)、泊川漁港(1)、相沼漁港(1)
- ・漁業就業者：126人(H15年漁業センサス)

# 八雲町熊石地域マリンビジョン

～漁業の安定で浜と地域の活性化～

【地先漁業の振興による経営の安定化と担い手の確保】

平成18年3月策定

拠点漁港のタイプ  
衛生管理流通拠点型  
増養殖支援拠点型

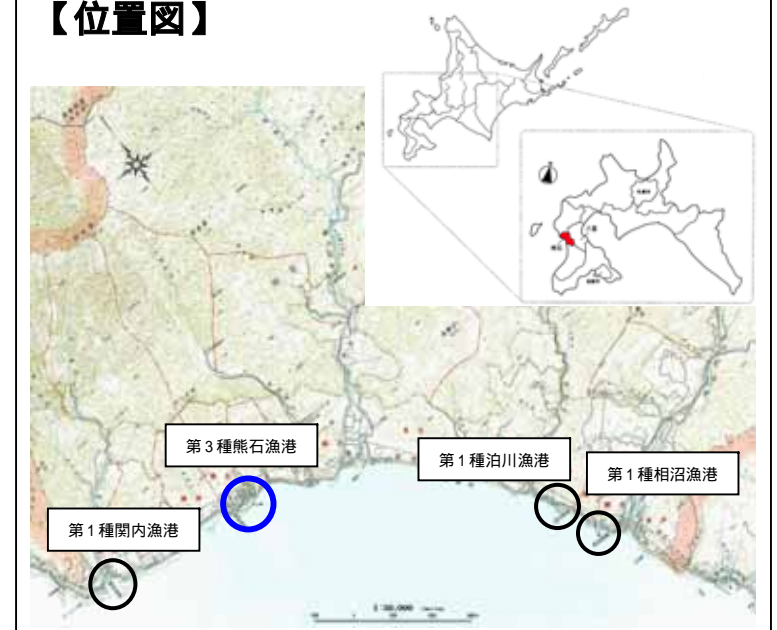
## 拠点漁港



## 地域の資源等



## 【位置図】



## 現状と課題

### 現状

人口減少、高齢化の進展  
漁業が基幹産業、地域経済の中心  
スケトウダラ、イカに依存 不安定な  
漁業経営  
「あわびの里」の町づくりが浸透  
漁業の担い手の減少、高齢化

### 課題

基幹産業である漁業の振興  
安定した漁業生産、経営の実現  
価格形成力の強化  
(特に支所単位の小ロット鮮魚)  
地産地消の仕組みづくり  
安全安心な水産物の供給体制の構築  
養殖アワビの販路拡大  
交流資源としての「海」の総合的活用  
教育の場としての「海、漁業」の活用

## 地域の目指す姿

### ビジョンの特徴

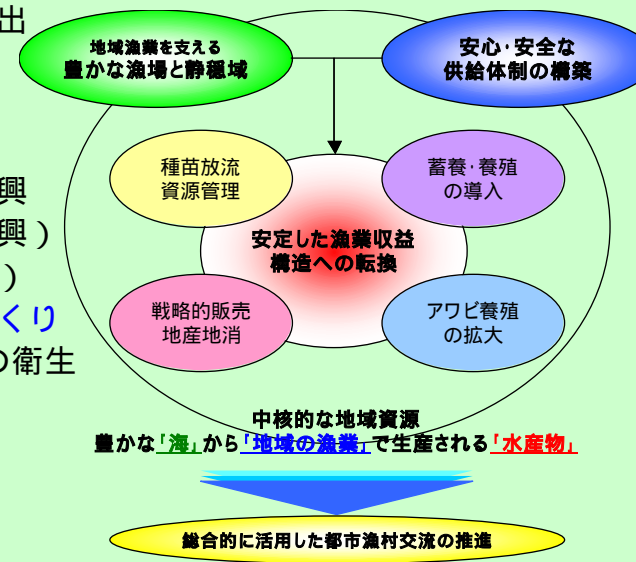
「地域の元気は浜の元気から」の視点で基幹産業である漁業の振興を主眼におき、安定した漁業経営の実現と漁業を支える豊かな海づくりを進める。そして地域最大の資源である「海」と「漁業」を総合的に活用した都市漁村交流の推進により、地域の活性化を図る。

### 豊かな地先沿岸漁場の創出

- ・安定した漁業を支える豊かな沿岸漁場の創出
- ・養殖業等の受け皿となる静穏域の創出
- ・沿岸漁場の環境保全活動の実践
- ・静穏域の複合的な活用による地先漁業の振興  
(蓄養事業や養殖業の導入、栽培漁業の振興)
- ・戦略的な販売事業の構築と地産地消の推進)
- ・熊石海洋深層水の有効利用とソフト面での衛生管理体制整備(地域 HACCP 体制)

### 「海」資源の総合的活用

- ・「海」を利用した学習機会の提供
- ・「海、漁業」を核とした交流の促進



## 地域マリンビジョン協議会

### メンバー

- ・漁業関係者  
(ひやま漁協理事・職員、地元漁業者代表)
- ・商工、観光関係者  
(商工会長、観光協会長)
- ・町内活動団体等  
(深層水利用促進研究会、レディースネットワーク等)
- 事務局・オブザーバー
  - ・八雲町熊石総合支所(事務局)
  - ・檜山支庁、函館土木現業所、函館開発建設部(オブザーバー)

## 地域資源(特徴)

「海」を中心とした豊かな自然環境  
アワビ(アワビの里)  
「釣物」スケトウダラ、イカ他の水産物  
海洋深層水  
温泉(あわびの湯、見市温泉) 歴史 等

## 漁港の将来像

### 衛生管理流通拠点機能

- ・拠点製氷施設、地域 HACCP 体制の構築
- 増養殖支援拠点機能
- ・沖防波堤、外郭施設、静穏海域の創出

## ビジョン実現のための主な取組み(重点プロジェクト)

- 1) 漁場管理によるアワビ養殖事業プロジェクト
- 2) 静穏域を活用した漁業構造改善プロジェクト
- 3) 地産地消推進プロジェクト
- 4) 共同出荷事業導入プロジェクト
- 5) 安心安全な水産物安定供給基地づくりプロジェクト
- 6) 熊石地域体験事業プロジェクト